単　　独

設　　計　　図　　書

（特記仕様書・位置図・業務数量総括表）

2026 年度施行

鱒浦豊郷線調査設計委託

網走市

特　　記　　仕　　様　　書

特 記 仕 様 書

20　一般事項

01　適用

01　共通仕様書

当該業務は、『北海道建設部測量調査設計業務等共通仕様書』（以下「共通仕様書」という。）に基づき履行すること。

05　土木工事積算基準等

１　当該業務の設計図書は、北海道建設部が制定した次の積算基準等に基づき作成している。

（１）一般土木工事

「土木事業委託積算基準」、「土木工事積算基準（下水道編）」、「土木工事工種体系化の手引き」、「下水道工事工種体系化の手引き・数量算出要領」

（２）漁港工事

「漁港関係工事積算基準」、「漁港関係工事工種体系化の手引き・数量算出要領」

２　「土木事業委託積算基準」、「土木工事積算基準（下水道編）」及び「漁港関係工事積算基準」において定めている諸基準に基づき次のとおり扱っている。

当該業務における作業項目については、各積算基準で定める作業区分により、必要な項目を計上している。

３　「土木工事工種体系化の手引き」、「漁港関係工事工種体系化の手引き・数量算出要領」及び「下水道工事工種体系化の手引き・数量算出要領」において定めている事項については、設計図書の規格・摘要欄に明示している。

４　「北海道における総合評価方式のガイドライン」、「工事技術的難易度評価表」において定めている諸基準に基づき作成すること。

06　概数

１　「概数として扱う数量一覧表」に示した数量は概数である。概数として扱う事項（レベル４）の履行に当たっては、業務計画書等提出時に業務担当員と協議し、数量の確認ができない場合を除き、数量を確定し業務着手すること。

２　地質調査業務

地質調査のうち機械ボーリング及び原位置試験は、掘進を行った結果を基に業務担当員と協議して業務数量を確定する。

02　個別事項

特 記 仕 様 書

01　目的

１　設計業務

当該業務は、鱒浦豊郷線の復旧工法を設計する業務である。

２　地質調査業務

当該業務は、鱒浦豊郷線の設計に必要な地質構造を確認する業務である。

02　土木工事数量算出要領

当該業務において、数量の算出を行う場合は次によること。また、これに定めのない事項については、業務担当員と協議すること。

１　一般土木工事

「土木工事数量算出要領」

２　漁港工事

「漁港関係工事工種体系化の手引き・数量算出要領」

３　下水道工事

「下水道工事工種体系化の手引き・数量算出要領」

03　CALS/EC

１　電子納品

（１）当該業務は電子納品とし、網走市電子納品の手引き(案)【委託編】に基づき、業務担当員と協議の上電子化の範囲を決定する。

（２）成果品は手引きに基づいて作成し、製本1部、電子媒体1部を提出する。

03　業務打合せ

03　設計業務

当該業務の打合せは、次のとおり予定している。

なお、打合せ回数に変更が生じた場合には、委託者と受託者との協議により設計変更する。

ただし、受託者の都合により申し出のあった打合せについては設計変更の対象外とする。

１　第１回打合せ

（１）打合せを実施する履行段階：業務計画書作成時

（２）打合せ場所（住所）：網走市役所都市整備課（網走市南5条東１丁目10番地）

特 記 仕 様 書

２　中間打合せ（1回）（市役所又は現場打合せ）
（１）打合せを実施する履行段階：設計条件の照査後
（２）打合せ場所（住所）：網走市役所都市整備課（網走市南5条東1丁目10番地）

３　成果品納入時
（１）打合せを実施する履行段階：成果品納入時
（２）打合せ場所（住所）：網走市役所都市整備課（網走市南5条東１丁目10番地）

４　留意事項
　第１回打合せ及び中間打合せを行う際は、業務担当員に実施状況等を記載した「工程表」を提出すること。
事業担当課との中間打合せを行う際は、事前に業務担当員と打合せ内容と確認事項等について整理しておくこと。なお、委託者の都合により、事業担当課との中間打合せ場所や回数に変更が生じた場合は、別途協議するものとする。
また、事業担当課との中間打合せの結果は、打ち合わせ簿に「事業担当課との中間打合せ結果」と明記し、打合せを行った事業担当課職員の所属・職・氏名を記載すること。
さらに、業務担当員を通じて事業担当課職員の確認（署名または押印）を必ず受けること。

04　提出成果品
09　地質調査業務【ボーリング調査】（電子納品等）
　提出成果品は、次のとおりとする。
　　成果品　　：一式
　　電子納品対象書類
　　調査報告書
　　平面図
　　柱状図　　：〔地質・土質調査成果電子納品要領（国土交通省・平成28年10月）による〕
　　地質断面図
　　孔内水位観測記録表：　様式-5（共通仕様書による）
　　ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ記録写真
　　ｺｱ箱　　：　岩石質材料の場合〔箱の規格は様式-7（共通仕様書による）による〕〕
　　標本箱(標本ﾋﾞﾝ)　　：　岩石質材料以外の土質材料等の場合
　　岩盤等高線図　　：　（作成可能な場合）

特 記 仕 様 書

33　　設計業務

提出成果品は、次のとおりとする。

３　修繕詳細設計（原図１部・原稿１部・製本１部）

平面図　：縮尺は適宜
断面図　：縮尺は適宜
詳細図　：縮尺は適宜
横断図　：縮尺は適宜

仮設工詳細図：縮尺は適宜
数量計算書　：A4ｻｲｽﾞ
報告書　　：A4ｻｲｽﾞ